

09 September

Monthly Report: BESIGN The Sustainable Design School, France



↑フランスの朝日は赤と白と青に見える時があります。自室にて。

9月中旬の渡航を控えた私は、どこかナーヴァスな気持ちでいました。宿泊先の手続きやフライトの準備、大学への提出書類など、さまざまな作業に追われながらも、なぜか現実感を持たず、ソワソワとした日々を送っていました。

そんな日本での夏休みもあっという間に過ぎ、約18時間のフライトを経て南フランスに到着しました。耳慣れない言語に知らない風、香りや味の違い、そしてチリチリと感じる太陽の光。五感に一気に押し寄せる異国の現実を感じながらも、心はまだその全てを咀嚼しきれず、輪郭の定まらぬまま日々を過ごしています。

レジデンス

私は現在、BESIGN の先生にご紹介いただいた、家具付きの学生専用レジデンスに住んでいます。家賃は月額 617 ユーロ（水道、ガス込）、日本円で約 10 万円です。もっと安価な物件も探せば見つかったかもしれませんが、留学経験者から物件に関するさまざまなトラブルの話を聞いていたため、それらを回避するためにも学校紹介のレジデンスを選びました。

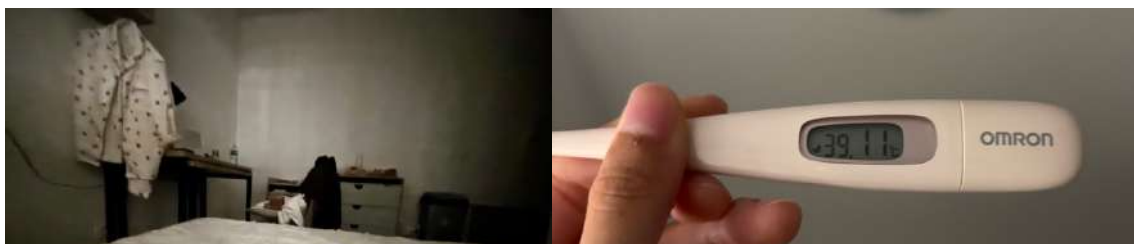
契約手続きは決して容易ではなく、実際に入居する前の月から家賃を支払わなければならなかったり、電気契約がうまく進まず二日ほど電気が止まってしまったり、契約書に記載された家具が揃ってなかったりと、現在進行形でいくつかの課題に直面しています（例：部屋にはまな板がなく、私は空中で全てを切っています）。

特に電気が止まっていた期間は、体調も崩してしまい高熱が二日続きました。幸い、あらかじめ買っておいた軟水とフルーツがあったため、なんとかしのぐことができました。ただし、体調が万全ではないなか、電気契約や口座開設など必要な手続きを短時間で済ませたため、頭はヒートしそうな状態でした。（学校の先生に相談すれば病院を手配してくれるなど、サポートを受けられるそうです。）

でたらめをやっごらん

留学直前に『大長編 タローマン 万博大爆発』という映画を観ました。この映画は、いかに「でたらめ」であることが重要であることを説いており、人は間違ふからこそ人生は面白くなる、完璧さや心地よさばかりを求め過ぎてはいけない、と教えてくれます。

毎日たくさんの壁にぶち当たる生活の中で「すべて“正解”をしなくても大丈夫だ」と背中を押してくれるこの考え方のおかげで、スーパーで買うつもりだったものと違う商品を購入してしまったり、部屋の電気が止まってしまったりしても、自分のミスに落ち込むことなく、「なんてこった！面白い！」と思うことができます。初めての海外での一人暮らしでもなんとか心病むことなく過ごせているのは、このマインドのおかげだと思っています。皆さんも何かに挑戦するときは正解にこだわらず、でたらめでもやってみてください。



語学学校

到着してから学校が始まるまで時間があつたため、学校のプログラムとは別に、現地の語学学校である International House Nice に個人的に申し込み、フランス語と英語を学ぶために一週間通いました。

フランスに着いた初日は BESIGN の生徒が市内を案内してくれましたが、その日以降は誰とも対面で会話することなく日々を送っていたため、語学学校の初日に先生と会話した時は、安心感から思わず涙が出そうになりました。知らない内に孤独を溜め込んでいたのだと思います。

言語だけではなく、ゴミ出しのルールやバスのチケットの買い方など、フランスでの生活の仕方も気軽に聞くことができ、孤独も解消したので、申し込んでよかったと心から思っています。語学学校に通うことは、一人で生活する留学希望者の方々にぜひおすすめです。

BESIGN の人々の印象

9月は2日間しか登校日がなく、両日とも授業は開講されていなかったため、私が感じた現地の生徒の印象を書こうと思います。

BESIGN は英語で授業が行われるため、フランス国内外からさまざまな生徒が集まります。彼ら彼女らと話して驚いたのは、日本の文化に興味とリスペクトを持っていることです。日本に限らずそれぞれの国に対して関心を持ち、国境を超えて仲良くなることを楽しんでいるように見えます。小さな世界で生きてきた私にとって、そんな友人たちの姿から学ぶことはとても多いです。

私は日本の学校でも特に英語が得意なわけではなく、BESIGN の中では一番言語に難ありなのですが、みんなはグループでも一対一でもちゃんと関わろうとしてくれます。それが本当に嬉しいです。そしてそれに応えるべく、英語を必死に勉強しています。

ある生徒は私たち日本人留学生を家に招き、パスタを振る舞ってくれたり、おすすめのレストランに連れて行ってくれたり、フランス語を教えてくれたりと、とても親切にしてくれています。留学前はこんな素敵な体験ができると思っていなかったため、今は形を探りながら、目の前にある小さな幸せや楽しみを摘み取る日々を過ごしています。

